

実践哲学研究

第15号

-
- ダーウィンの自然選択説に関する二つの疑惑
.....内井惣七(1)
- 相対の中の絶対.....佐藤義之(23)
——『見えるものと見えないもの』における
「見えるもの」、知覚野、存在——
- 関心と哲学.....白水土郎(37)
——カントの二律背反の解決をめぐる——
- 彙報.....(51)
-

京都大学文学部倫理学研究室内
実践哲学研究会

实践哲学研究

第 15 号

彙 報

1992年度倫理学講義題目

〔講義〕

教授 内井 惣七 「倫理学概論」

〔研究〕

教授 内井 惣七 「進化論と哲学」

講師 山内 友三郎 「R. M. ヘアと現代の道徳哲学」

講師 奥 雅博 「後期ウィトゲンシュタイン研究」

〔演習Ⅰ〕

教授 内井 惣七 「Allan Gibbard: *Wise Choices, Apt Feelings*」

教養部教授 有 福 孝 岳 「Kant: *Grundlegung zur Metaphysik der Sitten*」

講師 美 濃 正 「A. R. White (ed.): *The Philosophy of Action*」

講師 小 林 道 夫 「Descartes: *Les Méditations Métaphysiques*」

〔演習Ⅱ〕

教授 内井 惣七 「倫理学の諸問題」

〔講読〕

助手(哲学) 濱 野 研 三 「B. Williams: *Morality*」

趣 旨

人間が直面している現在の状況は、倫理学の重要性を日増しに痛感させるものである。しかしながら、ひとくちに倫理学といってもその対象は多岐にわたる。諸分野の協同なくして研究の進展はない。それ故、われわれ（京都大学倫理学研究室大学院生）は自らの研究を公けにすることによって、ひろく諸兄弟の批判と判断をおおぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を図るべく、ここに『実践哲学研究』を発行する。

後 記

1. 本年もここに第15号をお届けすることができました。これもひとえに皆様方の貴重なご意見、ご批評と暖かいご援助の賜物と感謝いたしております。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。

1. 当会では機関誌発行のほか各種研究会を催しております。本年度は、Is-Ought Question、生命倫理、等の研究会を行っております。

1. 本号掲載論文の合評会を下記の通り行います。ご参加いただければ幸いです。

日 時 1992年11月28日（土）午後1時より（5時終了予定）

場 所 内外学生センター（百万遍西南 Tel. 771—6025）

1. 当会では賛助会員制度を設け、会誌の読者の皆様にご支援をお願いしております。例年多数の方々のご協力をいただき、誠にありがとうございます。当会では、会誌の充実を含め、なお一層の努力をいたす所存でございますので、今後ともひき続きご支援のほどよろしくお願いいたします。なお、賛助会費は年一口千円をお願いしております。

発行 実践哲学研究会
〒606 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部倫理学研究室内
郵便振替 京都 2-27560

発行日
1992年11月1日

代表
内井 惣七

**STUDIEN
ZUR
PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
(DAS JISSENTETSUGAKU-KENKYU)**

Nr. 15 November 1992

INHALT

- Darwin Indicted: His Cases against Wallace and Blyth
.....Soshichi Uchii(1)
- L'absolu dans le relatif :
le «visible», le champ perceptif et l'Être
dans *Le visible et l'invisible*
.....Yoshiyuki Sato(23)
- Interesse und Philosophie :
Über die Kantische Auflösung der Antinomie
.....Shiro Shirouzu(37)
- Verschiedenes(51)
-

VERÖFFENTLICHT UND HERAUSGEGEBEN VON
DER GESELLSCHAFT FÜR STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
AN DER UNIVERSITÄT KYOTO
(KYOTO DAIGAKU JISSENTETSUGAKU-KENKYU-KAI)
KYOTO JAPAN